

# ディーセントワーク(人間らしい働き方)を求めて

## ディーセントワーク世界行動デー群馬県集会



10月10日、高崎ハローフォーラムにおいて、ディーセントワーク世界行動デー群馬県集会を産別、地協、議員懇など235名が参加し開催しました。

集会では、人間らしい働き方の実現や現在、国会で論議されている「労働者保護ルールの改悪」を阻止するため、民主党県連や議員懇からリレーアピールを行い、



応援に駆け付けた議員懇メンバー(左から角倉・小川・後藤県議、三森(前橋)・高柳(沼田)・篠田(渋川)市議、都丸(大泉)町議)

我々の主張を訴えかけ意思統一を行いました。

我々、働く仲間の声を議会の中で展開している議員懇の仲間の駆け付け力強いエールと決意が表明されました。

最後に、櫻井副会長から「すべての働く人が、公正で公平な権利が保障され、安心して暮らせる社会の実現に向け、一致団結し、ともに前進しよう」とのアピールを採択し、高崎の繁華街に向け、アピールウォークを行い、道行く多くの勤労者や生活者に向け広く訴えかけました。

また、集会に先駆け、高崎駅にて勤労者や学生に向け、チラシ入れのティッシュを配布しディーセントワーク世界行動デーの周知活動を行いました。



高崎駅周辺を力強く  
アピールウォーク



## 北方領土返還の早期実現を求め署名を提出

10月1日、群馬県庁において、今年1年間組合員の皆さまと共に取り組んだ「北方四島の返還を一日も早く実現するための署名」(44,570名分)を、北方領土返還要求群馬県推進連絡協議会(県民会議)に提出するため、窓口となっている群馬県企画部国際戦略課に提出しました。



佐藤課長(左)に署名を手渡す  
吉田副会長

吉田副会長から、「領土問題が簡単ではないのは理解しているが、国民運動として継続することが重要である」と述べ、群馬県に対して協力を呼びかけました。

連合は平和と友好を希求する労働組合の立場から、北方領土返還運動に、構成組織・地方連合会と力を合わせて取り組んでおり、「平和行動 in 根室」を開催しています。

## 青年・女性委員会 全国一斉署名活動に参加

10月4日、難病団体連絡協議会が全国一斉に取り組む「国会請願署名活動」がイオンモール高崎で実施され、青年・女性委員会から8名が参加しました。

難病認定を受けられない患者が多い状況を訴えながら、訪れた家族などに難病対策の確立に向けた署名への協力を求め、612筆を集約しました。

